令和4年度 学校評価 報告書





旭市立琴田小学校 令和5年3月3日

令和4年度学校評価について

1 目的

- ①本校の教育活動等の成果を検証し、必要な修正や改善を行い、児童がより良い教育活動を享受できるように学校運営の改善と発展を目指し、教育の水準の向上と保証を図る。
- ②学校運営に関して、学校が適切な説明責任を果たすとともに、学校の状況に関する共通理解を持つことにより、家庭・地域との連携協力の促進を図る。
- ③学校運営全般について評価を行い、その評価結果等を広く保護者等に公開する。

2 方法

- ・自己評価の元になる資料収集のため、児童、保護者、教職員向けアンケートを実施しました。ご協力ありがとうございました。
- ・アンケート等の結果を集計、分析、考察し、評価を実施しました。
- ・考察、評価から今後の学校運営に関しての対応をまとめました。
- ・この結果は、保護者、学校評議員、学校ホームページに公開されます。
- 3 アンケート結果の処理について

肯定的(%)は、質問に対する (とても思う:4 思う:3)の人数の割合です。 **否定的(%)**は、質問に対する (あまり思わない:2 思わない:1)の人数の 割合です。

評価(点) は、質問に対する回答を次の式で処理したものです。

式:各質問の回答の平均値/4×100

例)

1 児童は授業に取り組む姿勢・ルールが身についてきている。

(とても思う:4 思う:3 あまり思わない:2 思わない:1)で回答

とても思う : $4 \cdot \cdot \cdot 18$ 名 $4 \times 18=72$ 思う : $3 \cdot \cdot \cdot \cdot 2$ 名 $3 \times 2=6$ あまり思わない: $2 \cdot \cdot \cdot 2$ 名 $2 \times 2=4$ 思わない : $1 \cdot \cdot \cdot 2$ 名 $1 \times 2=2$

上の平均値は、 $(72+6+4+2) \div 24$ 人=3.5 3.5 \div 4 \times 100=**87.5 \rightarrow 評価(点)**

自己評価の資料として

十分達成○ (75以上) 要努力評価△ (75未満) 不十分達成× (60未満) としてあります。

目次

自己評価と対応 1ページ ~ 5ページ 1保護者アンケート結果 6ページ 2児童アンケート結果(低学年) 7ページ 3児童アンケート結果(高学年) 8ページ 4職員アンケート結果 9ページ 学校関係者評価 10ページ アンケート記述欄 11ページ ~ 13ページ

自己評価と対応

- ※自己評価は、A:十分に達成 B:ほぼ達成 C:やや不達成 D:不達成とし、保護者アンケー ト、児童アンケート、職員アンケート等を評価の参考としています。 ※各アンケートは(回答の平均/4*100点)として集計し、十分達成(75点以上):〇
- 要努力評価(75点未満):△ 不十分達成(60点未満):×で標記しました。

◎ 本年度の最重点目標について

1	授業に取り組む姿勢・ルールを職員・児童が共通理解し、徹底することで学習 習慣を確立する。	評価	Α
2	図書館司書と連携し、読書活動を推進する。読書の苦手な児童に対して、効果 的な指導・支援を実施する。	評価	В
3	家庭学習の充実を図る。実態調査に基づく対策、タブレット端末の効果的活用 等を実施する。	評価	Α
4	豊かな人間関係を構築するため、あいさつ運動・親切運動、ボランティア活動、勤労体験等を通して、思いやりや互いの個性を認め合う心を養う。	評価	В
5	進んで運動に取り組み、運動の楽しさを知るため、運動の日常化と体力向上を 図る。	評価	Α
6	学校・家庭・地域と連携し「開かれた学校」を推進する。児童一人一人の状況 について家庭との連携を密にする。	評価	Α
7	公正で効率的な職務の遂行とコンプライアンスを徹底し、「働き方改革」の推進、職員の「不祥事ゼロ」を実現する。	評価	Α

○進んで学習する子どもについて

1								評価	Α	
	アンケート対象	評価	アンケート対象	評価	アンケート対象	評価	アンケート対象	評価		
	保護者	0	低学年児童	0	高学年児童	0	職員	0]	

昨年度の課題でしたが、今年度は最重点目標として学校全体で取り組みました。 職員間の共通理解を図り、具体的な内容を学級掲示物として教室前面に掲げ児童 への意識化を図りました。学力も向上しました。

来年度に向けて、「主体的で深い学び」が実践できるよう授業改善に努めていきま す。

2	宿題や家庭	E学習 の	習慣が身に位	付いて	きている。				評価	Α
	保護者	0	低学年児童	0	高学年児童	Δ	職員	0		

低学年から高学年になるにつれ評価が下がっています。また、職員の意識と保護 者の意識にずれがあります。家庭での過ごし方について家庭生活アンケートを実施し ました。家庭での生活時間におけるゲームやYou tube視聴などの割合が多いことが わかりました。特に、高学年になるほどこの傾向が顕著になっています。対策として、 後期は、ゲームやネット依存に対応した授業を実施しました。課題としては、コロナ禍 で家庭への啓発・啓蒙活動が実施できなかったことですが、来年度は実施する予定 です。

	<u> </u>								 3 7/	
3	学校は、学習	の基	遴・基本となる計	算や	漢字などが身に	付くよう	に指導してい	る。	評 価	Α
	保護者	0	低学年児童	0	高学年児童	0	職員	0		
			習得しなければ							
			す。高学年ほどク こした。。対策とし							
	を実施しました	こ。課	題としては、コロ	ナ禍で	で家庭への啓発	· 啓蒙活	5動が実施で	きな		
			来年度は実施す 東習を行っていく			自習の	時間を活用し	ノ、計算		
	(1人] (7/1本7)	~~ U/IV	<u> </u>	1 VL	· / o					
	ω <u>κ.μ.</u> ν	, ,	د. د. علم الله الله الله الله الله الله الله ال	1. > \	- IIA \\\ == - += \				評	
4			進んで読書する			(いる。			価	В
	保護者	0	低学年児童	Δ	高学年児童	Δ	職員	0]	
			たが、高学年の記 目標になっている							
	は言えません。	。今年	三度は、読書が苦	手な	児童への個別指	導•支	援として図書	館司書		
	と連携し、「本の	の読	み聞かせ」「家庭	におり	ける読書の習慣	化」「家」	庭への啓発」	を実施		
			₹量が多い児童に 票を全校児童の3							
	でした。読書活	5動₫	推進については	よ、重	要な目標と捉え	、来年周	gも継続してi	進めるた		
	め計画を見直 検討します。	します	け。また、「読書	か苦	非な児童への個	別指導	・ 支援」の方	伝を再		
	T	と会会		TCT l	<u> </u>		 fl] でいス		評	A
<u>ပ</u>									価	
	保護者	O ₹>Hiv	低学年児童	<u> </u>	高学年児童 - 1年せから6年	<u> </u>	職員	O istack 学	J	
			狙にチャレンジし :児童のアイデア							
	キルを向上され	せる研	F修については、	ICT指	音導員の活用で!	職員の	研修が進みる	たした。リ		
	モート授業のまた。	天践(こついては、家庭	せじ週	こしている児童に	に表施	じさるよりにな	いまし		
↑		マ <i>マ</i>	以 について							
	_		どもについて						्राह्म	
6	児童は挨拶	や返	事がきちんとで	きる。					評 価	Α
	保護者	0	低学年児童	0	高学年児童	0	職員	Δ		
			がよくできていま							
			K客やボランティ 重動」等を通して					くないこ		
	I									
7	児童は、「道?	徳」々	やその他の活動	かとと	おして思いやり	の心が	うっている	o	評 価	Α
	保護者	0	低学年児童		高学年児童	/	職員	0		
	友だちに親も	刃にこ	<i>、</i> てあげたことか	ぶあり	ますか。					
	保護者		人 (基学年児童	0		0	職員		1	
							•		J	
	友だちのよい 	トテン 	ろや自分のよい	ところ	ろをみつけられ	ました	か。 		_	
	保護者	/	低学年児童	0	高学年児童	0	職員	/		
	高い評価を	いた	だいています。維	継続し	て取り組みます。					
	T								1 3 1	
8	学校は、いじ	めの	防止や早期発	見に	十分努めている	5。			評 価	Α

定期的な「いじめアンケート」、「いじめ・いじわる撲滅運動」を推進していきます。 「道徳科」や「諸活動」においても、思いやりの心や命を大切にする心を培っていきます。

高学年児童

保護者

〇 低学年児童

職員

<u>0</u> 8	建康で明るい	ハ子ど	もについて							
9			業や体育的行 に親しみ、体力				等)、休み時	間の遊	評価	Α
	保護者	0	低学年児童	0	髙学年児童	0	職員	0		
	運動や外あ	そびに	は楽しいと思い	ますか					-	
	保護者		低学年児童	0	高学年児童	0	職員	/		
	肯定的評価 後も努めてま		だけたことを受 す。	け、より)子供たちが充	実した活	舌動ができる。	よう、今	1 1	
10			て、児童の保 こ取り組んでレ		生に関する情報	報提供	に努め、協力	カして	評価	Α
	保護者	0	低学年児童	_	高学年児童	_	職員	0		
	給食をがん	ばって	食べましたか	0						
	保護者		低学年児童	0	高学年児童	0	職員	/		
	物アレルギー	-や体訓	の増進が図られ 間の悪い児童が	疎外愿	※を持たないよう	に配慮	して推進しま	きす。		
			視聴等で就寝 ムがくずれ、体詞							
			導と家庭への配				,			
O	喜んで働く ヨ	そどもに	こついて						I I	
	1		こついて	<u></u> どが十		いる。			評価	В
	児童の「勤労 保護者	労観」や	や「職業観」なる 【低学年児童		分育成されて		職員	0	評価	В
	児童の「勤党 保護者 新型コロナ ご協力を得て	労観」	で「職業観」なる	ため、や縮小	分育成されて 高学年児童 職業調べや職場	易体験な	よどの地域の		評価	В
11	児童の「勤労 保護者 新型コロナ ご協力を得て は実施に向い	労観」 ◇ ウィルフ 「実施す	で「職業観」なる 低学年児童 へ感染症対策の トる学習が中止	ため、「や縮小します。	分育成されて 高学年児童 職業調べや職場 となったため、	易体験な評価を]	などの地域の Bとしました。	来年度	評	В
11	児童の「勤労 保護者 新型コロナ ご協力を得て は実施に向い	労観」 ◇ ウィルフ 「実施す	で「職業観」なる 低学年児童 感染症対策の する学習が中止 情を行っていきま	ため、「や縮小します。	分育成されて 高学年児童 職業調べや職場 となったため、	易体験な評価を]	などの地域の Bとしました。	来年度	価	
11	児童の「勤労 保護者 新型コロナ ご協力を得て は実施に向い 学校は、児 保護者	労観」 ◇ ウィルン 「実施すす、 ・ 	で「職業観」なる 低学年児童」 体感染症対策の する学習が中止 情を行っていきま	ため、いた縮小を縮ります。	分育成されて 高学年児童 職業調べや職場 となったため、 と自己実現の 高学年児童	易体験な評価を]	などの地域の Bとしました。 二努めている	来年度 , ,	評	
11	児童の「勤労 保護者 新型コロナ ご協力を得て は実施に向い 学校は、児 保護者	労観」 ◇ ウィルン 「実施すす、 ・ 	に職業観」なる 低学年児童 べ感染症対策の ける学習が中止 情を行っていきま 一人のキャリ 低学年児童	ため、いた縮小を縮ります。	分育成されて 高学年児童 職業調べや職場 となったため、 と自己実現の 高学年児童	易体験な評価を]	などの地域の Bとしました。 二努めている	来年度 , ,	評	
11	児童の「勤労 保護者 新型力を得し は実施に、児 学校は、児 保護者 そうじや給賃 保護者	労観」 の で かって で 	で「職業観」なる 低学年児童」 感染症対策の する学習が中止 情を行っていきま 一人のキャリン 低学年児童 かんびをがんに 低学年児童 では学年児童	ためばっている。	分育成されて 高学年児童 職業調べや職場 となったため、 と自己実現の 高学年児童 いますか。 高学年児童 いますか。	湯体験だ評価を対	などの地域の Bとしました。 ご努めている 職員	来年度 , ,	評	
11	児童の「勤労保護者」が協力をに向いては、というでは、児童のでは、児童のでは、児童のでは、児童のでは、児童のでは、児童のでは、児童のでは、児童のでは、児童のでは、児童のでは、児童のでは、児童のでは、児童のでは、児童のでは、児童のでは、児童のでは、児童のでは、児童のでは、アン・スをは、ア	労観」 対 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 し い 一 一 し い に い 	に職業観」なる 低学年児童 べ感染症対策の する学習が中止 情を行っていきま 一人のキャリ 低学年児童 かんびをがんに 低学年児童 こすすんで活!	たやす。形がっている。	分育成されて 高学年児童 職業調べや職場 となったため、 と自己実現の 高学年児童 いますか。 高学年児童 いますか。	湯体験が設備を対しています。	などの地域の Bとしました。 一 	来年度 6 。	評	
11	児童の「勤労保護者」が協力をに向いては、というでは、児童のでは、児童のでは、児童のでは、児童のでは、児童のでは、児童のでは、児童のでは、児童のでは、児童のでは、児童のでは、児童のでは、児童のでは、児童のでは、児童のでは、児童のでは、児童のでは、児童のでは、児童のでは、アン・スをは、ア	労観」 対 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 し い に 一 い に い 	に職業観」なる 低学年児童 「感染症対策中止 する学習が中止 すを行っていきま 一人のキャリ 低学年児童 かんびをがんだ は学年児童 ですって活動 は学年児童	たやす。形がっている。	分育成されて 高学年児童 職業調べや職場 となったため、 と自己実現の 高学年児童 いますか。 高学年児童 いますか。	湯体験が設備を対しています。	などの地域の Bとしました。 一 	来年度 6 。	評	
11	児童の「勤労保護者」が協力をに向いては、児童の「大きなない。」というでは、児童のでは、人間では、人間では、人間では、人間では、人間では、人間では、人間では、人間	労観」 対 一 一 一 一 一 一 一 一 し い 一 一 し い 一 し い に 	に職業観」なる 低学年児童 「感染習が中止 情を行っていきま 一人のキャリン 低学年児童 かんびをがんに ですすんで活動 では、しっかり は、しっかり	たやす。形がっている。	分育成されて 高学年児童 職業調べや職場 となったため、 と自己実現の 高学年児童 いますか。 高学年児童 いますか。	湯体験が設備を対しています。	などの地域の Bとしました。 一 	来年度 6 。	評	
11 12	児童の「勤労を経済を持つでは、大学のとは、大学のでは、大学のは、大学のでは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学の	第	に職業観」なる 低学年児童 「感染習が中止 情を行っていきま 一人のキャリン 低学年児童 かんびをがんに ですすんで活動 では、しっかり は、しっかり	たやま ア つ つ し 活	分育成されて 高学年児童 職業調べたため、 と自己実現の 高学年児童 いますか。 高学年児童 いますか。 高学年児童	湯体験が過過でする。	などの地域の Bとしました。 一 	来年度 6 。	評	

交通ルールを守って登下校していますか。 ------

通学路の安全点検、登校時の見守り活動を実施しました。交通安全教室等の安全 指導も実施しました。引き続き、連携・協力を推進していく事が重要と捉えています。

	1								± 7:	ı
14	学校は、学	校施設	の安全や子と	もの活	舌動の安全対策	策に努	めている。		評[価]	Α
	保護者	0	低学年児童	/	高学年児童		職員	0		
	これからも	安全点	検等による安全	**安心	な学校をめざし	ていき	ます。			
15	児童は、学	校に行	くことを楽しい	と感じ	ている。				評価	Α
	保護者	0	低学年児童	0	高学年児童	0	職員	0		
			「楽しい」と感じ							
			バいることを重要 カ」を充実させて							
	ます。								Ī∌vil	
16	児童は、基	本的な	生活習慣(早	寝•早	起き・朝ご飯)	が身に	ついている	0	評 価	Α
<u>-</u>	保護者	0	低学年児童		高学年児童		職員	Δ		
	学校のきまり	りやや。	くそくを守って	生活し	ていますか。					
	保護者		低学年児童	0	高学年児童	0	職員	_]	
	児童の健身	₹、授業	への集中のたる	め、学校	交でも基本的な	生活習	慣の定着を打	指導して	4	
	います。きま	りを守っ	って、生活できる	ことは	社会生活·集団	生活に	不可欠なこと	です。		
	規 東 を を を を を を を を を を を を		きるよう集団生活	507/ / i	削渕徐を軸に、	「坦愢」	教育、日常 ⁰)生活指		
17	学校は 旧	辛.必得		1学人)ァゴ	と ア海川で	바다 ~	ニ		評	_
17		里"个体	ででは、現代の方式	一次(し)	りして週別にタ	り心しし	ている。		価	Α
			T & 4 33 & 4 . 2 . 4 . 1 .		1				<u> 1 Щ </u> 1	
	保護者	0	低学年児童	/	高学年児童		職員	0	<u> 1µµ </u>	
		O をお家	低学年児童 の人にはなし	ていま	1		職員	0]	
		をお家		ていま	1	0	職員職員	0	<u> 11111 1</u>	
	学校のことを保護者		の人にはなして低学年児童	0	すか。 高学年児童			0]	
	学校のことを		の人にはなし 低学年児童 さは先生に話す	〇 ナように	すか。 高学年児童 こしていますか		職員	0	<u> 1144 </u>	
	学校のことを保護者学校でこませています。	ったこと	の人にはなし 低学年児童 は先生に話す 低学年児童	○ ように	すか。 高学年児童 こしていますか 高学年児童	·. O	職員	0]	
	学校のことを 保護者 学校でこま 保護者 児童や保	ったこと	の人にはなし 低学年児童 は先生に話す 低学年児童 らの相談につい	○ ように ○ では、	すか。 高学年児童 こしていますか 高学年児童 誠実に対応する	。 O ることを,	職員 職員 ひがけていま]	
	学校のことを 保護者 学校でこま 保護者 児童や保護 童は、思春期	きますが	の人にはなし 低学年児童 は先生に話す 低学年児童	O かように O では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	すか。 高学年児童 していますか 高学年児童 誠実に対応する 談実に対応する 談しなくなる傾向	。 〇 ることを うがある	職員 職員 心がけていま	週間やス]	
	学校のことを 保護者 学校でこま 保護者 児童や保護 童は、思春期	きますが	の人にはなしる 低学年児童 は先生に話する 低学年児童 の相談についると保護者や教師	O かように O では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	すか。 高学年児童 していますか 高学年児童 誠実に対応する 談実に対応する 談しなくなる傾向	。 〇 ることを うがある	職員 職員 心がけていま	週間やス]	
18	学校でこまで保護者 児童や保護者は、思春期の一ルカウン	護者からに入る。	の人にはなしる 低学年児童 は先生に話する 低学年児童 の相談についると保護者や教師	○ すように ○ では、 ・ では、 がら積っ から積っ	すか。 高学年児童 こしていますか 高学年児童 誠実に対応する 談しなくなる傾「 極的に教育相話	。 〇 ることを、 句がある 炎活動を	職員 職員 心がけていま ので、相談 ご実践してい	週間やス		Α
18	学校のことを保護者学校でこまり、児童や保護・世界を保護を関する。世界のアン・学校は保護	護者からできる。	の人にはなしる 低学年児童 は先生に話する 低学年児童 の相談についると保護者や教師を活用し、学校を	○ すように ○ では、 ・ では、 がら積っ から積っ	すか。 高学年児童 こしていますか 高学年児童 誠実に対応する。 談しなくなる傾きをいるできる。 極的に教育相談をは、	。 〇 ることを、 句がある 炎活動を	職員 職員 いがけていま ので、相談 と実践してい	週間やスきます。		Α
18	学校のことを保護者学校でこまで、現金のでは、思いますがは、思いますがは、思いますがは、思いますがは、思いますがは、思いますがは、思いますがは、思いますがは、思いますがは、思いますがは、思いますがは、思いますが、思いまりが、思いまり、思いますが、思いますが、思いますが、思いますが、思いますが、思いますが、思いまりが、思いまりが、思いまりが、思いまりが、思いまり、思いまりが、思いまりが、思いまりが、思いまりが、思いまりが、思いまりまりが、思いまりが、思いまりが、思いまりが、思いまりが、思いまりが、思いまりが、思いまりが、思いまりが、思いまりが、思いまりが、思いまりが、思いまりが、思いまりが、思いまりが、思いまりが、思いまりが、思いまりが、思いまりは、思いまりは、まりは、思いまりは、思いまりは、思いまりは、思いまりは、思いまりが、思いまりは、思いまりは、思いまりは、思いまりは、思いまりは、思いまりは、思いまりは、思いまりは、思いまりは、まりは、まりまりは、まりは、まりは、まりまりは、まりまりは、まりまりは、まりは、	でたこと 護者から さんしょう ひょう ひょう ひょう ひょう ひょう ひょう ひょう ひょう ひょう ひ	の人にはなし 低学年児童 は先生に話す 低学年児童 らと保護者や教能を活用し、学校を 見童の個人情報を した個人情報を	○ けように ○ はは相 がら積 を	すか。 高学年児童 していますか 高学年児童 誠実に対応する領に対応なる傾に教育相認 護・管理に努	。 O Sことを 対がある 次活動を 外の使月	職員 職員 いがけていま かので、相談 で実践してい いる。	週間やス きます。 		Α
18	学校のことを保護者学校でこまで、現金のでは、思いますがは、思いますがは、思いますがは、思いますがは、思いますがは、思いますがは、思いますがは、思いますがは、思いますがは、思いますがは、思いますがは、思いますが、思いまりが、思いまり、思いますが、思いますが、思いますが、思いますが、思いますが、思いますが、思いまりが、思いまりが、思いまりが、思いまりが、思いまり、思いまりが、思いまりが、思いまりが、思いまりが、思いまりが、思いまりまりが、思いまりが、思いまりが、思いまりが、思いまりが、思いまりが、思いまりが、思いまりが、思いまりが、思いまりが、思いまりが、思いまりが、思いまりが、思いまりが、思いまりが、思いまりが、思いまりが、思いまりが、思いまりは、思いまりは、まりは、思いまりは、思いまりは、思いまりは、思いまりは、思いまりが、思いまりは、思いまりは、思いまりは、思いまりは、思いまりは、思いまりは、思いまりは、思いまりは、思いまりは、まりは、まりまりは、まりは、まりは、まりまりは、まりまりは、まりまりは、まりは、	でたこと 護者から さんしょう ひょう ひょう ひょう ひょう ひょう ひょう ひょう ひょう ひょう ひ	の人にはなし 低学年児童 は先生に話す 低学年児童 らと保護者や教師 を活用し、学校を 見童の個人情報	○ けように ○ はは相 がら積 を	すか。 高学年児童 していますか 高学年児童 誠実に対応する領に対応なる傾に教育相認 護・管理に努	。 O Sことを 対がある 次活動を 外の使月	職員 職員 いがけていま かので、相談 で実践してい いる。	週間やス きます。 		Α
	学校のことを学校できる。 学校できる。 学校できる。 「学校は、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 ので	きない。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	の人にはなし 低学年児童 は先生に話す 低学年児童 のの相護者でも からと保用し、学校を活用し、学校を活用し、学校を活用し、学校を活用し、学校を 見童の個人情報を したの個人情報を したの個人情報を したののでは、	○ けように ○ にはには 日積 の保 一切は 5 切り 「保 2 切り 5 切り	すか。 高学年児童 していますか 高学年児童 誠実にくなる有相記 談しなくなる有相記 護・管理に努 高学年児童 こ管廃棄している はに廃棄している はに廃棄している はに戻している はに戻している はに戻している はに戻している はに戻している はに戻している はに戻している はに戻している はにに戻している はにに見いる はにに見いる はにに見いる はにに見いる はににしている はに	。	職員 職員 いがけていま かので、相談 と実践してい いる。 職員 目がないよう	週間やス きます。 〇 に努力し		
18	学校のことを学校できる。 学校できる。 学校できる。 「学校は、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 ので	きない。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	の人にはなし 低学年児童 は先生に話する 低学年児童 の相談はや教育を活用し、学校を活用し、学校を 見童の個人情報を した個人情報を	○ けように ○ にはには 日積 の保 一切は 5 切り 「保 2 切り 5 切り	すか。 高学年児童 していますか 高学年児童 誠実にくなる有相記 談しなくなる有相記 護・管理に努 高学年児童 こ管廃棄している はに廃棄している はに廃棄している はに戻している はに戻している はに戻している はに戻している はに戻している はに戻している はに戻している はに戻している はにに戻している はにに見いる はにに見いる はにに見いる はにに見いる はににしている はに	。	職員 職員 いがけていま かので、相談 と実践してい いる。 職員 目がないよう	週間やス きます。 〇 に努力し		A
	学校のことを学校できる。 学校できる。 学校できる。 「学校は、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 ので	きない。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	の人にはなし 低学年児童 は先生に話す 低学年児童 のの相護者でも からと保用し、学校を活用し、学校を活用し、学校を活用し、学校を活用し、学校を 見童の個人情報を したの個人情報を したの個人情報を したののでは、	○ けように ○ にはには 日積 の保 一切は 5 切り 「保 2 切り 5 切り	すか。 高学年児童 していますか 高学年児童 誠実にくなる有相記 談しなくなる有相記 護・管理に努 高学年児童 こ管廃棄している はに廃棄している はに廃棄している はに戻している はに戻している はに戻している はに戻している はに戻している はに戻している はに戻している はに戻している はにに戻している はにに見いる はにに見いる はにに見いる はにに見いる はににしている はに	。	職員 職員 いがけていま かので、相談 と実践してい いる。 職員 目がないよう	週間やス きます。 〇 に努力し	評価	
	学校の 学校で 養者 学校で 養さ、 で者 で者 では、 の とでで できまっ 学校で とでで できまっ 学校で とでで とでで とでで とでで とでで にいかかり といいで できまっ できずで にいかの にいたで にい	を 養別とラーションでは でする。 です。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 です。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 です。	の人にはなし 低学年児童 は先生に話する 低学年児童 の保護者、学校 を活用し、学校 見童の個人情 した個人情報を した個人情報を ときない。	O は A O は 内 内 の 内 の の<	すか。 高学年児童 していますか 高学年児童 は実になる 高学年児童 成別の 大学の	。	職員 職員 心がけていま いので、相談 と実践してい いる。 職員 用がないよう	週間やス O C S D C C C C C C C C C	評価	
	学校の 学校で 養者 学校で 養さ、 で者 で者 では、 の とでで できまっ 学校で とでで できまっ 学校で とでで とでで とでで とでで とでで にいかかり といいで できまっ できずで にいかの にいたで にい	を 養別とラーションでは でする。 です。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 です。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 です。	の人にはなし 低学年児童 は先生に話すると は先生に記載したのとは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、	O は A O は 内 内 の 内 の の<	すか。 高学年児童 していますか 高学年児童 は実になる 高学年児童 成別の 大学の	。	職員 職員 心がけていま いので、相談 と実践してい いる。 職員 用がないよう	週間やス O C S D C C C C C C C C C	評価	

引き続き、おたよりやホームページ、学校情報配信「TETORU」を活用し、学校の様子をお知らせしていきます。

○特別支援教育について

20	学校は、	特別な支	援が必要な	児童に	対し、個別の	支援•指	導に努め	ている。	評価	Α
	保護者	f O	低学年児童		高学年児童		職員	0		
	自分とち	っがう考え [、]	や行動をする	友だち	のことを大切	にしてい	ますか。			
	保護者		低学年児童		高学年児童	0	職員			
	友だちの	りよいとこ	ろや自分のよ	いところ	。 をみつけられ	ほした	<i>ያ</i> ~°			
	保護者	Ť /	低学年児童		高学年児童	0	職員			
	個灶曲	きかなり見音の	の数音のため	木校で	け生活トや学	翌上の著	な 課	フミュー		

○不祥事防止について

学校は、「不祥事ゼロ」をめざして意識改革に努め、効果的な研修を行っている。

ケーション力の向上を図るため、特別支援教育に重点をおいています

保護者 低学年児童 高学年児童 職員 〇

「不祥事ゼロ宣言」を掲げ、不祥事防止研修を月に1回のペースで実施しています。またコンプライアンス意識啓蒙のための新聞記事や不祥事事例等を職員に配布し、研修を行っています。

○働き方改革について

評|

Α

(職員は)意識して時間外勤務を削減しようとしている。

時間外勤務45時間を超える職員が月平均で5人となっているのでさらなる働き方改革が必要です。学校評議員より「タブレットの活用等が進んでいるが、教職員のICT研修が大変だ」という評価もいただいています。

1 保護者アンケート結果

- ※ アンケートに対して、(とても思う:4 思う:3 あまり思わない:2 思わない:1)で回答を頂きました。 4と3を肯定的回答、2と1を否定的回答としました。 ※評価(点)は、各回答の平均/4*100点としました。

区分	番 号	アンケート項目	肯定的 (%)	否定的 (%)	評価 (点)
進	1	児童は授業に取り組む姿勢・ルールが身についてきている。	88%	12%	80.3
んで学	2	宿題や家庭学習の習慣が身に付いてきている。	81%	19%	77.3
で学習する子ども	3	学校は、学習の基礎・基本となる計算や漢字などが身に付くよう に指導している。	94%	6%	82.2
る子 ど	4	学校は、児童が進んで読書するように指導・配慮している。	74%	26%	75.2
ŧ	5	学校は、授業や家庭での学習にICT機器(タブレット端末)を活用 している。	91%	9%	82.2
あ思	6	児童は挨拶や返事がきちんとできる。	91%	9%	82.3
るい 子や どり	7	児童は、「道徳」やその他の活動をとおして思いやりの心が育っている。	91%	9%	81.2
もの	8	学校は、いじめの防止や早期発見に十分努めている。	87%	13%	79.4
健康で	9	学校は、体育の授業や体育的行事(運動会・マラソン大会)、休み時間の遊びをとおして運動に親しみ、体力向上を推進している。	95%	5%	86.2
どもる	10	学校は家庭に対して、児童の保健衛生に関する情報提供に努 め、協力して児童の健康増進に取り組んでいる。	97%	3%	84.9
く喜子ん	11	児童の「勤労観」や「職業観」などが十分育成されている。	81%	19%	74.4
どでも働	12	学校は、児童一人一人のキャリア形成と自己実現の指導に努め ている。	87%	13%	76.7
	13	学校は、通学路の安全や交通安全対策に努めている。	91%	9%	81.6
安 全	14	学校は、学校施設の安全や子どもの活動の安全対策に努めて いる。	97%	3%	83.1
、 生 活	15	児童は、学校に行くことを楽しいと感じている。	92%	8%	85.8
`	16	児童は、基本的な生活習慣(早寝・早起き・朝ご飯)が身についている。	80%	20%	79.4
家庭と	17	学校は、児童や保護者からの相談に対して適切に対応してい る。	96%	4%	84.3
の 連 携	18	学校は、連絡帳・電話・学校配信メール等で家庭との連絡・連携 を図っている。	98%	2%	85.5
175	19	学校は、「学校だより」「学級だより」「保健だより」等の配付や 「ホームページ」等で学校の様子や教育活動をわかりやすく伝え ている。	97%	3%	84.8
教支特 育援別	20	学校は、特別な支援が必要な児童に対し、個別の支援・指導に 努めている。	94%	6%	84.6

2 児童アンケート結果(低学年)

※ アンケートに対して、(とても思う:4 思う:3 あまり思わない:2 思わない:1)で回答を頂きました。 4と3を肯定的回答、2と1を否定的回答としました。

※評価(点)は、各回答の平均/4*100点としました。

区分	番号	アンケート項目	肯定的 (%)	否定的(%)	評価 (点)
進	1	じゅぎょう にとりくむしせい・ルールは、まもっていますか。	98%	2%	86.2
んで学	2	しゅくだいはわすれずにやっていますか。	100%	0%	93.5
習する	3	かんじやけいさんなどをがんばっていますか。	96%	4%	90.6
で学習する子ども	4	がっこうやいえですすんで本をよんでいますか。	67%	33%	73.2
5	5	タブレットをつかったべんきょうはたのしいですか。	95%	5%	91.8
あ思	6	あいさつやへんじがきちんとできていますか。	90%	10%	87.5
るい 子や	7	ともだちにしんせつにしてあげたことがありますか。	90%	10%	86.6
どり	8	ともだちのよいところやじぶんのよいところをみつけられましたか。	81%	19%	81.9
健康で明	9	たいいくややすみじかんなどはすすんでからだをうごかしま したか。	98%	2%	93.5
るい	10	うんどうや外あそびはたのしいとおもいますか。	96%	4%	93.9
子ども	11	きゅうしょくをがんばってたべましたか。	82%	18%	83.8
子ども 動く	12	そうじやきゅうしょくのじゅんびをがんばっていますか。	98%	2%	90.4
	13	こうつうルールをまもってとうげこうしていますか。	100%	0%	92.1
安全、	14	がっこうせいかつはたのしいですか	88%	12%	86.2
生活	15	がっこうのきまりややくそくをまもってせいかつしていますか。	93%	7%	88.8
、家庭	16	がっこうのことをおうちの人 にはなしていますか。	78%	22%	81.0
との連携	17	がっこうでこまったことはせんせいにはなすようにしていますか。	84%	16%	80.7
	18	れんらくちょうをきちんとかいて家の人にみせていますか。	90%	10%	89.2

3 児童アンケート結果(高学年)

※ アンケートに対して、(とても思う:4 思う:3 あまり思わない:2 思わない:1)で回答を頂きました。 4と3を肯定的回答、2と1を否定的回答としました。 ※評価(点)は、各回答の平均/4*100点としました。

区分	番号	アンケート項目	肯定的(%)	否定的(%)	評価 (点)
進	1	じゅぎょう 授業にとりくむ姿勢・ルールはまもっていますか。	92%	8%	80.7
ん	2	いえ がいかう しゅくだい かていがくしゅう まま く 家での学習(宿題や家庭学習など)に進んで取り組んでいますか。	70%	30%	74.3
で学習する子ども	3	漢字や計算などにがんばって取り組んでいますか。	81%	19%	81.1
子ど	4	がっこう いえ 学校や家ですすんで本をよんでいますか。	51%	49%	62.2
*5	5	ダルきょう たの タブレットをつかった勉強は楽しいですか。	82%	18%	82.8
* H	6	へんじ あいさつや返事がきちんとできていますか。	89%	11%	83.4
あ思るいや	7	とも 友だちに親切にしてあげたことがありますか。	89%	11%	86.8
どりもの	8	ちだちのよいところや自分のよいところをみつけられましたか。	86%	14%	80.7
健康	9	たいいく やす じかん 体育や休み時間などはすすんで体を動かしましたか。	74%	26%	78.4
球で明る	10	ラムヒラ チヒ to took it is	85%	15%	85.5
い 子	11	きゅうしょく 給食をがんばってたべましたか。	82%	18%	83.2
く喜子ん	12	きゅうしゃ そうじや給食のじゅんびをがんばっていますか。	96%	4%	84.6
どでも働	13	かかり いいんかいかっとう 係や委員会活動にすすんで活動していますか。	94%	6%	88.4
認め合う	14	じぶん 自分とちがう考えや行動をする友だちのことを大切にしてい ますか。	91%	9%	85.1
安全	15	こうつう 交通ルールを守って登下校していますか。	97%	3%	89.7
` `	16	がっこうせいかっ たの 学校生活は楽しいですか。	86%	14%	84.5
生活、	17	学校のきまりややくそくを守って生活していますか。	95%	5%	86.1
家庭し	18	がっこう 学校のことをお家の人にはなしていますか。	81%	19%	82.4
と の 連	19	学校でこまったことは先生に話すようにしていますか。	74%	26%	75.0
携	20	nんらくちょう 連絡帳をきちんと書いて家の人に見せていますか。	84%	16%	81.1

4 職員アンケート結果

※ アンケートに対して、(とても思う:4 思う:3 あまり思わない:2 思わない:1)で回答を頂きました。 4と3を肯定的回答、2と1を否定的回答としました。 ※評価(点)は、各回答の平均/4*100点としました。

区分	番号	アンケート項目	肯定的 (%)	否定的(%)	評価
進	1	児童は授業に取り組む姿勢・ルールが身についてきている。	100%	0%	86.5
んで学	2	児童は、宿題や家庭学習の習慣が身に付いてきている。	100%	0%	88.6
で学習する子ども	3	学習の基礎・基本となる計算や漢字などが身に付くように指導している。	100%	0%	85.4
る 子 :	4	児童が進んで読書するように指導・配慮している。	100%	0%	85.4
ども	5	授業や家庭での学習にICT機器(タブレット端末)を活用している。	92%	8%	81.3
あ思	6	児童は、挨拶や返事がきちんとできる。	64%	36%	67.9
るい 子 どり	7	児童は、「道徳」やその他の活動をとおして思いやりの心が 育っている。	100%	0%	79.2
もの	8	学校は、いじめの防止や早期発見に努めている。	100%	0%	94.6
健康で明	9	児童は、体育の授業や体育的行事(運動会・マラソン大会)、 休み時間の遊びをとおして運動に親しみ、体力向上を推進し ている。	100%	0%	91.1
どもで明るい	10	学校は、家庭に対して、児童の保健衛生に関する情報提供 に努め、協力して児童の健康増進に取り組んでいる。	100%	0%	96.4
く喜 子ん	11	児童の「勤労観」や「職業観」などが育成されている。	85%	15%	75.0
ども働	12	児童一人一人のキャリア形成と自己実現の指導に努めてい る。	100%	0%	79.2
	13	学校は、通学路の安全や交通安全対策に努めている。	100%	0%	94.6
安全	14	学校は、学校施設の安全や子どもの活動の安全対策に努めている。	100%	0%	100.0
生	15	児童は、学校に行くことを楽しいと感じている。	100%	0%	84.6
活、、	16	児童は、基本的な生活習慣(早寝・早起き・朝ご飯)が身についている。	79%	21%	73.2
家庭と	17	学校は、児童や保護者からの相談に対して適切に対応している。	100%	0%	92.9
の 連 携	18	学校は、連絡帳・電話・学校配信メール等で家庭との連絡・連携を図っている。	100%	0%	98.2
1/4	19	「学校だより」「学級だより」「保健だより」等の配付や「ホームページ」等で学校の様子や教育活動をわかりやすく伝えている。	100%	0%	98.2
教支特 育援別	20	特別な支援が必要な児童に対し、個別の支援・指導に努めている。	100%	0%	92.9
不	21	学校は、「不祥事ゼロ」をめざして意識改革に努め、効果的な 研修を行っている。	100%	0%	98.2
働 さ 革 方	22	意識して時間外勤務を削減しようとしている。	100%	0%	83.9

学校関係者評価

琴田小学校学校評議員会

I 進んで学習する子ども

- ○文化祭を参観したとき、児童が修学旅行や地域のことなどを発表していた。 先生方は子どもたちの発表をせかすことなくじっくり待って自ら学ばせようとしている。
- ○タブレットを使っての学習が進んでいるようで子どもにとってはいいことである。
- ○学校外の者から見ると人的にも金銭的にも大変だなと感じる。 事務や会計などの図書館司書のような専門的な人員を学校に配置するべきである。
- ○授業を見ていると自主性が感じられる。個別に子どもたちへの指導で有効な手立て、全体で自主性が育つような後押しをしている。

Ⅱ 思いやりのある子ども

○SNSの誹謗中傷などが問題になっているようだが、文字だけのやりとりだとニュアンスがうまく伝わらずトラブルになることも多い。ことばの大切さを取り上げる授業や人権教育でのロールプレイング、インクルーシブ教育などの教材を取り上げ、子どもたちなりに人間関係を理解させる機会を設けていってほしい。それには学校だけでなく、家庭の協力も必要となる。

○外国籍の子への偏見、LGBTなどへの対応は必要になってくる。

Ⅲ 健康で明るい子ども

記載なし

IV 喜んで働く子ども

記載なし

V 安全、生活、家庭との連携

- ○安全面で気になるところで防犯灯や用水路沿いの柵などは、市に対策してもらえた。
- ○今後も地域を歩いて何かあれば市へ呼びかけたい。

VI 特別支援教育

記載なし

Ⅶ 不祥事防止・働き方改革

- ○タブレットの運用が始まってから、指導する方は大変なのではないか。先生方の負担となっていないか心配している。
- ○働き方改革を推進するためには人を増やさなければいけないと感じる。
- ○家庭でやるべきことまで学校に任されている。働き方改革を進めるためには何かを割り切ってい かなければならない。
- ○学校単独では限りがある。

その他

○地域の行事は、コロナ等でなかなか学校と一緒に開催できないが、今後できるものは行いたい。
○学校評価・・・正しく評価するためにも学校評議員が子どもの様子を見る機会を増やしてほしい。